



MBニュース



【中国産マッシュルーム新物状況】

丸松物産株式会社

12月2日現在のマッシュルーム産地の情報を収集致しました。

①栽培状況

中国北方と南方の栽培面積は、20～30%の減少になるのではないかと予想されております。その原因と致しましては、これまで欧米をはじめ、ロシアなどの地域からのオーダーが減少し、出荷量が非常に悪かったことから、農家での栽培意欲が減退したとの事です。

②生産開始時期

中国北方の山東、河南省（主に欧米向けの塩蔵原料）は既に10月26日からスタートしました。また南方の福建省漳州（主に日本向け原料）は12月中旬からスタートの予定となっております。今後の天候状況により収穫量は左右される為、現地輸出者を通じて具体的な産地情報を引き続き収集し、その報告を改めてしたいと考えます。

【人民元の対ドル相場が「5時代」に接近 元高が輸出の足かせに(2)】

■元上昇が輸出企業の利潤をむしばむ

人民元の上昇加速の影響は中国輸出企業にも波及している。外需の回復が明らかでなく、受注状況も好転しない中、人民元の立て続けの上昇は「泣き面に蜂」で、一段と利潤が圧迫されているとする輸出企業が少なくない。ある小型家電企業の担当者は「今年人民元の上げ幅はすでに2%に達している。家電、電子業界の利潤率は通常4-5%前後で、利潤の半分以上がすでにむしばまわれている」と語った。

輸出企業を更に苦しめているのは、人民元が上昇し続ける一方で、新興国や日韓の通貨が大幅に下落し、企業の輸出競争力にとって二重の打撃となっていることだ。「われわれの主要競争相手は日本車と韓国車だ。円とウォンが下落すれば、彼らは値下げの余地が広がり、われわれの競争力は低下する。これは人民元の上昇が加わり、われわれは価格を多少上げることになる。今年の競争圧力は去年より強まっている」と長城汽車の担当者は語った。

税関の統計によると、中国の輸出は2か月連続の増加後、9月に0.3%減少した。これは不利な国際通貨環境が主因で、元高が輸出の足かせとなっていることは注視に値する。

■均衡値化を加速すべき

人民元相場は「6」という心理的に重大な値に近づいており、市場は人民元の動きを注視している。2005年7月の人民元改革以来、短期的な下落はあったが、対ドル上昇基調は全体的に変わず、現在までに35%上昇している。「人民元改革からすでに8年。為替相場が均衡値水準に近づいているのは確かだが、それがどの程度になるのかは判断が難しい。為替相場は2国間の問題であり、例えば人民元の対ドル相場は米中両国の状況によって決まる。人民元自身の上昇がどの程度かだけを見ても、均衡値なのか均衡値でないのかは判断しようがない」と趙氏は指摘。人民元の年内の上げ幅は、3-5%になる可能性が高いとの見方を示した。

また「人民元の国際化の深まりと国内金利の自由化が加速する中、為替相場メカニズムの市場化をさらに加速する必要がある、現在は均衡値に戻るのを加速する必要がある」と述べた。

「人民網日本語版」2013年10月25日より抜粋

【お奨め商品情報】

	商品名	梅なめ茸 1kg規格と400g規格	
	商品説明	梅と鰹節で仕上げた贅沢な一品です。きゅうりや山いもと和えた小鉢メニューやうどんのトッピングなど、その他、ご飯のお供にも合います。	
	主要原材料	えのき茸、梅肉、鰹節	
	賞味期限	製造日より4ヶ月	
	使用上の注意	開封後は10℃以下に冷蔵して、5日以内にお召し上がりください。	

※梅なめ茸の朝ごはん

以上